

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

# 松阪市地域公共交通協議会 (松阪市)

平成17年 8月 1日設置

令和 6年 1月30日 松阪市地域公共交通計画策定  
(計画期間：令和6年1月～令和10年3月)

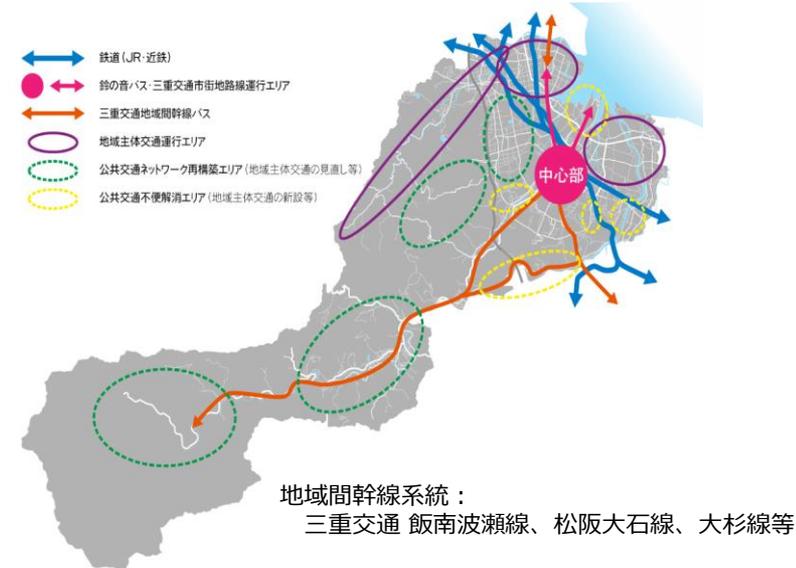
評価対象の地域公共交通確保維持事業

- ・地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

# 1.【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

## 松阪市の特性・概要、取組

- ・総面積は623.58km<sup>2</sup>(東西50km、南北37km)
- ・市域の8割は耕地と山林。
- ・人口は156,400人(R6.4.1)。
- ・三重県中勢に位置し、他市町とは鉄道でつながっている。
- ・市街地においては鉄道駅を中心にバスが運行している。
- ・山間部においては高齢化及び人口減少の進展が顕著
- ・路線バスが運行していないエリアでは、地域が主体的に運行に協力するコミュニティバスが運行している。



## 10年後の将来像(総合計画) ここに住んで良かった…みんな大好き松阪市

【松阪市地域公共交通計画】令和6年1月策定 計画期間:令和5年度～令和9年度の5年間

### ■松阪市の公共交通の目指す将来像

気兼ねなく利用できる地域公共交通をみんなでつくる

基本方針①…鉄道、路線バス、タクシー等の公共交通の認知度向上

基本方針②…市営バス(鈴の音バス)の再編

基本方針③…地域の特性や実情にあった交通手段(おでかけ交通)の確保

基本方針④…みんなで支える地域公共交通の実現

## 2.【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

基本方針①…鉄道、路線バス、タクシー等の公共交通の認知度向上

### バス無料デーの実施

令和4年度より実施  
市内の路線バス、市営バスの  
利用を全て無料とするキャンペーン

令和6年度の実施結果は  
約**4,000人**ご利用いただいた。  
(通常日の約4倍)

当日利用者アンケートにより、  
バスの魅力を再認識していただき、  
回答者の大多数がバスをまた  
利用したいと回答した。



### イベントとのコラボレーション



市内の謎解き宝探しイベントとコラ  
ボレーション  
宝探し参加の小中学生の運賃  
無料化やお宝スポットをバスの  
アクセスが良い施設に設定する  
ことでバスのアピールを行った。

この他、国宝指定の「船型はに  
わ」ゆかりの地を鈴の音バスで  
巡るツアー開催等

基本方針②…市営バス(鈴の音バス)の再編

### 鈴の音バスのルート見直し

鈴の音バスの沿線  
地域の住民と協議の  
上でバスルートの見直し  
を行った。

該当地域のバス停につ  
いて、見直し前と比較し  
て約**30%**の利用が  
増えた。  
(約400人⇒約550人)

時代と共に住民ニーズが  
変化していることを認識し  
柔軟に対応することの必要性が認識できた。



### バスの意見交換会の開催



鈴の音バスの沿線  
地域の住民との意見交換会  
を開催した。

沿線の住人、約**40名**程  
ご参会いただき、  
バスの乗り方講座と共に  
バスの要望の聞き取りを  
行った。

沿線地域においても不便と  
感じる住民がいる事を認識  
した。

## 2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

### 基本方針③…地域の特性や実情にあった交通手段(おでかけ交通)の確保

#### 山間部でのデマンド交通の導入

令和6年度に導入  
コミュニティバスが運行する山間部  
において、既存バスでは全ての地域を  
カバーできていない問題を解決する  
デマンド方式を採用した。

導入したばかりのため効果検証  
が推定値となってしまうが  
バスの時代と比較して**約50%**  
利用が伸びている。

一部、運行時間や停留所等に  
課題が残っているため  
沿線住民と協議を行い、課題解決  
を図りたい。

**飯高地区デマンド交通**

飯高地区全域を運行する //

※平日のみ、飯高地区で公共交通の確保を向上させるために、最速型の交通を運行開始したデマンド交通を導入します。

区間	往	復	片道	乗車	その他
飯高地区内	300	300	150	400	500
飯高地区外	300	300	150	400	500
片道	400	300	200	300	300
片道	500	400	300	300	300

デマンド交通の使い方  
※平日のみ、飯高地区で公共交通の確保を向上させるために、最速型の交通を運行開始したデマンド交通を導入します。

#### 自治会主体のデマンド交通の導入

**虹が丘町に  
公共交通 デマンド(乗合) タクシー**

自治会が主体となって導入した  
デマンド交通

市では自治会が主体となった公共交通  
の確保を推進しており、自治会が  
自身の地域の課題や設計を行うことで  
よりきめ細やかなサービスの確保  
が可能となっている。

令和5年度では、**約53人**  
がご利用いただいた。

利用要望が伸びているため  
運行日時の拡大検討を制度面、  
財政面で支援していく。

### 基本方針④…みんなで支える地域公共交通の実現

#### 転入者向けに路線図を配布

松阪市の転入者  
約**5,000人**を対象に  
転入時のしおりにバスの  
路線図を配布することで  
バスの利用促進を行った。

バスの利用者アンケート  
等を通して効果検証を行う  
予定である。



#### バスのPR活動



市産業振興センターで開催の  
特別講演に参加者された方  
へバス啓発冊子を配布し、公  
共交通の利用をPRした。

今後も地域の行事やイベント  
等に参加し、普段公共交通を  
利用しない方へのPRを実施  
し、地域の公共交通をみんな  
で支える意識を育てていく。

### 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

計画策定時の現状値(R4年度)水準を維持する最低限達成すべき目標値として**達成目標値**と公共交通の将来的な発展を目指す**計画目標値**(R元年度)を評価指標とする

#### ① 住民一人あたりの地域公共交通年間利用回数(R5年度)

公共交通利用者数	<b>1,132,426人</b>
住民基本台帳人口	<b>158,218人</b>
一人あたりの公共交通年間利用回数	<b>7.16回/人</b>
達成目標【6.99回】 評価	○
計画目標【8.0回】 評価	×

#### 考察

昨年度と比較して微増しており、達成目標は達成しているが、令和元年度の水準までは届いていない。  
コロナ禍に公共交通から離れた利用者の復活や、新しい利用者を獲得できていないことが原因と思われる。

#### ② 地域公共交通の年間利用者数(輸送回数)(R5年度)

	利用者数 実績	達成目標評価		計画目標評価	
		目標値	評価	目標値	評価
市内鉄道駅の年間利用者数 (千人/年)	<b>5,072</b>	4,555	○	6,150	×
路線バス年間利用者数 (千人/年)	<b>998</b>	959	○	1,136	×
タクシー年間輸送回数 (千回/年)	<b>375</b>	363	○	507	×
鈴の音バス年間利用者数 (千人/年)	<b>88</b>	84	○	99	×
コミュニティ交通年間利用者数 (千人/年)	<b>48</b>	44	○	64	×

#### 考察

昨年度と比較して微増しており、達成目標は達成しているが、令和元年度の水準までは届いていない。  
コロナ禍に公共交通から離れた利用者の復活や、新しい利用者を獲得できていないことが原因と思われる。

## 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

## ③ 地域公共交通の年間利用者数及び地域負担率(幹線・路線別)

路線 (幹線)	R5年度年間利用者数 (人)					地域負担率 (運賃収入のみ)					地域負担率 (協賛金含む)				
	R5 年度 実績	達成 目標値	達成 目標 評価	計画 目標値	計画 目標 評価	R5 年度 実績	達成 目標値	達成 目標 評価	計画 目標値	計画 目標 評価	R5 年度 実績	達成 目標値	達成 目標 評価	計画 目標値	計画 目標 評価
鈴の音バス 市街地循環線	<b>57,527</b>	55,255	○	68,325	×	<b>17.7%</b>	16.9%	○	23.7%	×	<b>28.5%</b>	28.8%	×	39.9%	×
鈴の音バス 幸中央線	<b>9,934</b>	9,766	○	11,000	×	<b>5.9%</b>	5.6%	○	20.0%	×	<b>10.3%</b>	9.2%	○	30.0%	×
鈴の音バス 三雲松阪線	<b>14,465</b>	13,700	○	16,092	×	<b>9.9%</b>	9.0%	○	12.4%	×	<b>14.3%</b>	12.6%	○	17.6%	×
鈴の音バス 大口線	<b>5,677</b>	5,187	○	6,009	×	<b>6.3%</b>	5.5%	○	7.5%	×	<b>10.7%</b>	9.2%	○	12.8%	×

## 考察 (幹線)

年間利用者数については、昨年度と比較して微増しており、達成目標は達成しているが、令和元年度の水準までは届いていない。コロナ禍に公共交通から離れた利用者の復活や、新しい利用者を獲得できていないことが原因と思われる。

地域負担率においても同様の傾向であるが、鈴の音バス市街地循環線の地域負担率では、協賛金含む負担率が達成目標にも届いていない。市内企業・団体からの協賛金がコロナ禍での業績不振が影響したと思われるが、今後も地域が地域公共交通を支える仕組みとして、企業に対して丁寧な説明を行い、協賛の依頼を続けていく。

## 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

## ③ 地域公共交通の年間利用者数及び地域負担率(支線・路線別)

路線 (支線)	R5年度年間利用者数 (人)					地域負担率 (運賃収入のみ)					地域負担率 (協賛金含む)				
	R5 年度 実績	達成 目標値	達成 目標 評価	計画 目標値	計画 目標 評価	R5 年度 実績	達成 目標 値	達成 目標 評価	計画 目標 値	計画 目標 評価	R5 年度 実績	達成 目標 値	達成 目標 評価	計画 目標 値	計画 目標 評価
黒部・東地区 コミュニティバス	4,543	4,913	×	5,522	×	4.8 %	5.2 %	×	7.7 %	×	15.5 %	16.3 %	×	19.8 %	×
機殿・朝見地区 コミュニティバス	5,125	3,224	○	5,594	×	4.6 %	2.6 %	○	5.5 %	×	13.9 %	9.8 %	○	14.0 %	×
飯南地区 コミュニティバス	1,064	1,143	×	1,561	×	1.1 %	1.3 %	×	2.3 %	×	10.2 %	11.2 %	×	12.4 %	×
飯高波瀬森地区 コミュニティバス	866	1,145	×	1,596	×	1.0 %	1.2 %	×	1.8 %	×	7.0 %	7.4 %	×	8.1 %	×
嬉野地区 コミュニティバス	6,880	6,301	○	7,957	×	3.2 %	3.1 %	○	5.3 %	×	11.5 %	11.9 %	×	15.0 %	×
三雲地区 コミュニティバス	4,475	4,138	○	6,153	×	7.1 %	7.0 %	○	10.9 %	×	21.1 %	21.2 %	×	24.4 %	×
松尾地区 コミュニティ交通	2,844	2,776	○	3,054	×	8.9 %	8.9 %	○	9.8 %	×	30.7 %	31.2 %	×	34.3 %	×
阿坂小野線	16,900	14,200	○	24,800	×	21.3 %	21.5 %	×	22.7 %	×	21.3 %	25.4 %	×	27.1 %	×
宇気郷線	4,900	5,500	×	10,900	×	13.8 %	19.8 %	×	23.0 %	×	19.8 %	23.7 %	×	27.7 %	×

## 考察 (支線)

- 全体的に増加傾向で達成目標を達成している路線が多いが、飯高町、飯南町、黒部東コミュニティバス沿線地域など、人口減少が進んでいる郊外においては、達成目標すら達成できていない。
- 機殿朝見地区コミュニティバスは令和4年度より1.5倍の利用者が増えている。要因分析を行い、可能であれば全路線へ展開する。

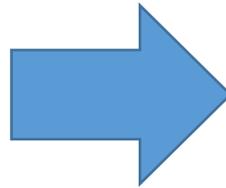
### 計画の達成状況

全体的に、令和4年度水準を目指す「**達成目標**」は達成している。

⇒利用促進活動やコロナ禍からの回復により、前年度よりは利用が伸びている。

ただし、令和元年度水準を目指す「**計画目標**」は達成していない。

⇒コロナ禍前の水準までは遠く及んでいない。



依然、危機的状況にあることを強く認識した上で  
公共交通の必要性を広くアピールして  
積極的に利用促進策を進める必要がある。

### 今後の対応方針

#### ・新しい利用促進事業の実施

バス無料デーはR6年度で事業3年目を迎え、無料化することでの期待効果としては定着したため、今後は夏季休暇を利用した子ども対象の利用促進など新しい利用促進事業を実施していく

#### ・地域主体の交通手段(おでかけ交通)の推進

局所的な交通空白地をカバーする手法として地域主体の交通手段(おでかけ交通)の導入を推進する。  
また、おでかけ交通を支線的に導入することで、幹線の公共交通の推進につなげたい。

#### ・駅前バスターミナルの整備

三重交通(株)と共同で駅前バスターミナルへデジタルサイネージを設置することで、現在増えている観光客や市民にバス案内をわかりやすくし、公共交通の利用促進につなげたい。

#### ・鉄道、タクシーの利用促進

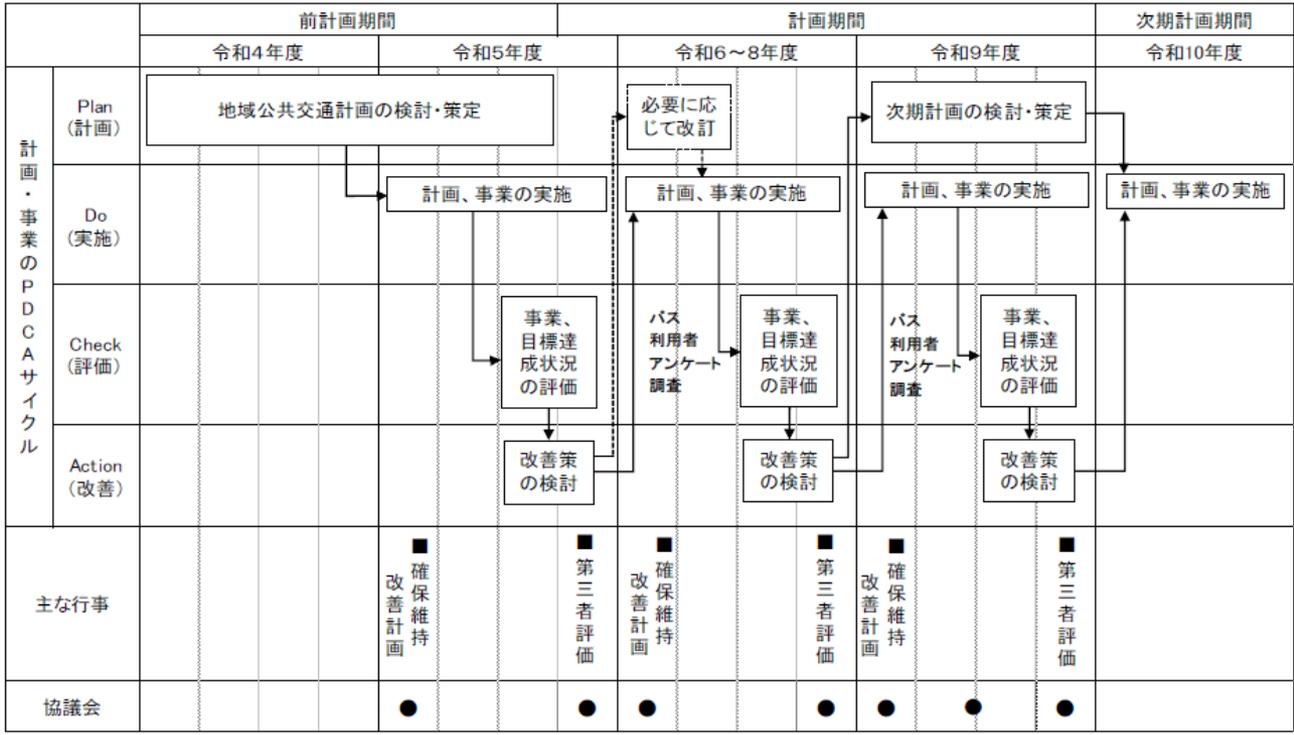
これまでの施策がバスに対する利用促進策に偏っている為、鉄道やタクシーの利用促進策についても地域公共交通協議会にて議論を行い、住民の利用へつなげるイベントを開催したい。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	飯高地区のコミュニティ交通の再編について、利用者へ混乱の無いように周知し、再編後の利用状況の把握と分析・検証を期待します。	運行開始間もないため、今後も沿線の住民組織と連携して新しい交通システムの周知を行うと共に、利用者アンケートや、乗車体験等を通して利用者の声を直接聞いていく。	利用実績とアンケートや直接の意見等を分析・検証し、必要な改良を加えながら、地域に支えられる交通システムとして定着させていく。
	バス運賃無料デーについては、利用者のその後の公共交通の利用につながっているかなど、可能な範囲で分析・検証を深め、今後の取組に活用されることを期待します。	三重交通と連携して効果検証を図っており、令和6年度は利用者アンケートの回答者に向けて抽選キャンペーンを行うことにより、より多くの利用者の声を拾う試みを行った。	アンケート回答を基に、今後はバス運賃無料デーのみならず、他の効果的な利用促進策の検討にも活かしていく。
	新たに策定された地域公共交通計画に基づき、効果的で持続可能な公共交通サービスが確保維持されていくことを期待します。	地域公共交通協議会を構成するステークホルダーと共に、持続可能な交通サービスについて検討を進めていく。	引き続き、地域公共交通協議会にて議論を進めていく。
	市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、引き続き、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。	地域開催の運行協議会等で輸送量が低迷している路線についての課題共有や路線維持の必要性について議論している。	引き続き、県との連携、地域との情報共有を継続していく。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	地域が主体となった運行形態の検討や、企業や地域住民に対する協賛金の募集など、地域ぐるみでバスの利用促進に取り組まれることを引き続き期待します。	R6. 1月策定の松阪市地域公共交通計画において、地域が主体となって構築する「おでかけ交通」を定義しました。また運賃に加え協賛金も含めた収入を地域負担率として各路線の評価基準の一つとしている。	市内各住民協議会を単位とする地域カルテについて、作業部会の協議が済んだことから、今後、地域において「おでかけ交通」導入検討する際の指標として、住民へ説明を行っていく。
	乗り継ぎによる利用やバスロケーションシステムの活用等をPRし利用促進に取り組んでいくことを期待します。	バス時刻表へ各種割引案内やバスロケーションシステムのQRコードを掲載してPRに努めている。	引き続き、バスのPR活動を行うことで、市民へ利用促進を行う。
	市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、引き続き、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。	地域開催の運行協議会等で輸送量が低迷している路線についての課題共有や路線維持の必要性について議論している。	引き続き、県との連携、地域との情報共有を継続していく。

※前回：令和6年3月21日、前々回：令和5年3月10日

■ 協議会のPDCAスケジュール



■ 直近1年間の協議会の開催状況

令和6年1月16日	令和5年度第3回地域公共交通協議会	松阪市地域公共交通計画の策定に合意
令和6年6月12日	令和6年度第1回地域公共交通協議会	地域交通作業部会(おでかけ交通)の立ち上げに合意
//	第1回地域交通作業部会	地域主体の交通サービス(おでかけ交通)の検討
令和6年9月20日	令和6年度第2回地域公共交通協議会	運賃協議分科会の立ち上げに合意
令和6年9月27日	第2回地域交通作業部会	地域主体の交通サービス(おでかけ交通)の検討
令和7年1月	令和6年度第3回地域公共交通協議会	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月14日

協議会名: 松阪市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
三重交通株式会社	鈴の音バス市街地循環線 ・右回り ・左回り	・企業や地域住民への協賛金募集 ・運賃無料デーの実施 ・鈴の音バス全路線を集約した時刻表の作成 ・OD調査の実施 ・乗降調査のオンライン化	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B 【年間利用者数】 計画目標:55,255人 達成目標:68,325人 実績:59,761人(366日)  【地域負担率 =年間運賃収入/年間運行経費】 達成目標:16.9% 計画目標:23.7% 実績:18.1% (運賃8,442千円、経費46,736千円)  利用者は前年度と比較して微増したが、コロナ禍前の水準に戻っていない。また、原油高騰、運転手不足により運行経費が増加した。	地域ぐるみで運行維持を図るため、運行開始当時から継続している、企業や地域住民から協賛募集を実施する。 乗り継ぎによる利用やバスロケーションシステムの活用などをPRし、利用促進に取り組んでいく。 地域の移動ニーズを把握するために、高齢者に対するアンケートやOD調査を実施する。
三重交通株式会社	嬉野地区コミュニティバス「嬉野おおきんバス」 ・月水金:上小川～中川駅東口 ・火木土:上小川～嬉野地域振興局	・地域が主体となり、住民のほか地元事業者に対しても協賛の募集 ・地域組織による回数券購入の助成 ・地域住民で構成される運行協議会を定期的に開催 ・OD調査の実施 ・乗降調査のオンライン化	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B 【年間利用者数】 計画目標:6,301人 達成目標:7,957人 実績:6,987人(293日)  【地域負担率 =年間運賃収入/年間運行経費】 達成目標:3.1% 計画目標:5.3% 実績:3.5% (運賃601千円、経費17,137千円)  利用者は前年度と比較して微増したが、コロナ禍前の水準に戻っていない。また、原油高騰、運転手不足により運行経費が増加した。	人口減少の進展が顕著な嬉野地区中山間地域において、コミュニティ交通は重要な移動手段で、高齢者の移動手段を確保するため、コミュニティバス乗車回数券の購入補助に取り組んでいる住民自治協議会がある。今後も引き続き、運行協議会主体による、地域ぐるみの取組を進めていく。 地域住民や地元企業への協賛金募集に継続して取り組む。沿線商業施設に対して、乗り入れ等の運行の連携を行う。
三重交通株式会社	三雲地区コミュニティバス「たけちゃんハートバス」 五主～ココカラファイン嬉野店中川駅北	・地域が主体となり、住民のほか地元事業者に対しても協賛の募集 ・「たけちゃんハートバス便り」を発行して情報発信 ・地域住民で構成される運行協議会を定期的に開催 ・OD調査の実施 ・乗降調査のオンライン化	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B 【年間利用者数】 計画目標:4,138人 達成目標:6,153人 実績:4,718人(243日)  【地域負担率 =年間運賃収入/年間運行経費】 達成目標:7.0% 計画目標:10.9% 実績:7.0% (運賃665千円、経費9,494千円)  利用者は前年度と比較して微増したが、コロナ禍前の水準に戻っていない。また、原油高騰、運転手不足により運行経費が増加した。	地域だより等を活用して、三雲地区コミュニティバスと連結する鈴の音バス三雲松阪線や三重交通津三雲線の乗継利用、利用喚起を図る。 地域主体の地域住民や地元企業への協賛金募集を継続し、今後も引き続き、協議会主体による、地域ぐるみの取組を進めていく。また、地域住民と密に関わり、運行ルートの検討を行う。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月14日

協議会名:	松阪市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業(陸上交通における地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>松阪市は広大な市域を有し、平野部から山間部まで変化に富んだ地形が広がっている。公共交通として鉄道・バスによって多くをカバーしているものの、一部ではタクシー以外のおでかけ手段のない地域も存在している。「松阪市総合計画」の10年後の将来像である「ここに住んでよかった・・・みんな大好き松阪市」を目指し、以下の基本方針と目標を掲げて公共交通施策に取り組んでいく。</p> <p><b>【目指す将来像】</b>気兼ねなく利用できる地域公共交通をみんなでつくる</p> <p><b>【基本方針】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 鉄道、路線バス及びタクシーの運行や情報提供の改善・工夫による認知度向上</li><li>2. 新たな地域のニーズを生み出す鈴の音バスの再編</li><li>3. 地域の特性や実情に合った交通手段の確保</li><li>4. みんなで支える地域公共交通の実現</li></ol>